

居合道だより

令和 7年 7月

第228号





はじめに

全日本居合道大会、今・昔

強化研修委員会 吉田 初喜

今年も7月19日（土）、福岡武道館において第58回福岡県居合道大会が開催されます。

その際、5段・6段・7段の上位入賞者等の中から、10月11日に東京で開催される第60回全日本居合道大会の選手候補が選出され、大会に向けて約3ヶ月間、選手強化稽古が行われます。

稽古会を実施するにあたり、現在では選手の健康維持管理等の観点から冷房完備の施設確保が困難となっていますが、例年、稽古場の確保を千代剣友会のT氏にお願いし、無事に稽古ができております。この場を借りて、心より感謝申し上げます。

ここで、現在および過去の選手強化稽古や試合、大会について、私の体験を少しご紹介いたします。

私が最初に出場の機会をいただいたのは、昭和53年に鹿児島県で開催された第13回大会でした。

当時の出場者は、5段：吉田、6段：辻先生、7段：山下先生で、それぞれの段に補欠1名が加わり、計6名でしたが、合同稽古会や強化稽古会等は一度もありませんでした。

私は師匠である7段選手、山下貞利先生について稽古をしましたが、当時先生は8段挑戦の稽古をされており、ちょうど良い時期にご一緒できたことは、貴重な体験でした。当時、制定形は7本目までで、下緒の装着はありませんでした。

試合の制限時間は5分で、古流2本・制定形3本を行い、審判の勝負発声は「2対1、赤（または白）の勝ち、勝負あり」と発声されていました。また、審判の旗上げも同時ではなく、バラバラに行われる会場もありました。現在は審判講習会があり、統一した見解で指導されています。

試合内容については、身体全体で力強く斬る姿を表現するような「汗の染み込んだ泥臭い居合」が推奨されており、現代のようなスカッとした都会的な居合は、どこか敬遠されていた印象があります。現在は、地区講習会等で1本目から12本目まで教本に則って指導が行われています。

大会の雰囲気も現在とは異なり、選手入場の際には各都道府県の監督がプラカードを掲げ、鹿児島駐屯陸上自衛隊音楽隊による鹿児島県民謡「おはら節」をアレンジした行進曲に合わせて、応援席や観客の手拍子の中、場内を1周し、所定の位置についた時には気分も最高に盛り上がっていたことを覚えています。

また、お昼休みには地元の皆さんによる踊りなどのパフォーマンスがあり、お祭り気分の大会でした。

範士昇格のご挨拶



福岡県剣道連盟 居合道部 副会長

北九州居合道同好会 会長

居合道範士八段 小田 信秋

北九州居合道同好会会長の小田です。

本年 5月 3日、京都での称号審査において「範士」の称号を拝授いたしました。私ごときが... とも思いますが、福岡県剣道連盟副会長の迫野先生、居合道部会長の井手先生はじめ諸先生、

先輩、そして会員・剣友の皆様のおかげと衷心より御礼申し上げます。

先日、私宅近くにある師の霊園墓石に手を合わせて参りました。目を伏せていると風音に混じって「お前が、か？」と聞こえたようで、思わず苦笑い。霊園を吹き抜ける風さえも一層、ざわざわと騒々しくなったように感じました。

振り返れば居合道との出会いは、大牟田で入社式をしてその後着任した若松の勤務先から実家の中間市に帰っている途中、折尾警察署の前に貼ってあった「居合道」の看板を見て、故山下貞利範士の家に電話を架けてからになります。それから 51年が経ちました。

その後、折尾警察署も移転し、師匠の家も解体されていて今では名残り惜しむことも叶いません。ただ昨年、解体されている途中にたまたまに行き合わせ、内覧することが出来ました。

虫の知らせではないですが、何となく「ちょっと寄ってみよう」と思い立ち幹線から一つ中に入った脇道を行くと、既に2階・屋根は取り壊されていました。入口、居間はまだそのままでしたので工事の方に許可を頂いて、当時を偲ぶことが叶いました。ただ惜しむべきは玄関先に掲げられていた「北九州居合道同好会／八幡杖道会」の大看板を持って帰れなかったこと。モルタルに埋め込まれてあったので簡単には外れませんでした。頑固な師と同じだな..と諦めました。(笑)

51年の月日は長いようで短いような私の居合人生ですが、迫野範士、井手範士のように学も術も豊富な先生方と違って、浅学菲才な自身の悲哀をイヤというほど味わっています。

これから剣友の皆さまと一緒に学ばせていただく所存ですので、今後ともご協力、ご支援、ご指導を戴きますよう伏してお願い申し上げ、ご挨拶に代えさせていただきます。

小田 信秋 拝

7・8月の予定・編集後記

7月5～6（土・日）

第52回居合道中央・地区講習会	全剣連	広島県
19（土） 第58回福岡県居合道大会	福剣連	福岡武道館

8月3（日） 福岡県居合道講習会	福剣連	福岡武道館
小田信秋先生範士昇格祝賀会	居合道部	

編集後記

夏は夜。月のころはさらなり、闇もなほ、螢の多く飛びちがひたる。また、ただ一つ二つなど、ほのかにうち光りて行くもをかし。雨など降るもをかし。

6月下旬「梅雨が消えた？」というおかしな表現が飛び交った。以降雨は混じるものの灼熱の太陽が照りつけて、肌に容赦なく刺さってくる……もをかし？いやいやもうちょっと降ってくれないと…。どうせまた集中豪雨でもあるんだろう。お手柔らかに願いたいものです。

今年は5月から入門希望者（ネットだけしか管理してませんが）が例年より多く、興味をひいているのかな？という実感がひしひし伝わってきます。また今年「劇場版 鬼滅の刃 無限城編 第1章」が今月公開される。映画で章わけされると、気持ち悪いんですけどね。3章あるようです。

おそらく、最後の鬼舞辻無惨討伐まで描かれるのだろうと思いますが。

作者が福岡県出身で、太宰府政庁の鬼門よけの電門神社（主人公が電門炭治郎と言います）が聖地とされ、賑わいを見せています。（物語の中でそういったエピソードはございませんが修験道の市松模様の衣装が似ているからとも言われています）

ところでその映画見に行くか？「もちろん」広報委員としては少年がそれに憧れて入ってきたら話を合わせないといけません。もちろん教えるのは「水の呼吸や火の呼吸」ではなく全日本剣道連盟居合12本ですけど。ウエルカムで受け入れますよ！

もう直ぐ夏休み！楽しく稽古しましょう！

さて現在全剣連居合からの通達で「環境省の熱中症警戒アラートとの連動」というものが通達されており、25年は4月23日～10月22日まで、環境省の「熱中症特別警戒アラート」「熱中症警戒アラート」が運用されています。全剣連もこれに合わせて、暑さへの「気づき」や予防行動の徹底を呼びかけています。水分補給や休憩などを十分に取事故なく楽しく稽古いたしましょう。

表紙の写真は飯塚居合道同好会に5月に入会した小川詩乃さんです。写真は保護者様より許可をいただき提供いただいております。

© 公益社団法人 福岡県剣道連盟・福岡県剣道連盟 居合道部

第227号 令和7年7月発行

発行：福岡県剣道連盟居合道部

URL：<http://riai.info/>

発行人：井手友太

〒819-1132 糸島市有田36番地-1

TEL:092-322-0847

編集：有限会社FEW